

地域プラットフォーム形成の目的・意義

山梨県域で地域プラットフォームを組成し、山梨県内の地方公共団体における公共施設等の整備・維持管理・運営等に関し、地域の産官学金間の連携の強化、地方公共団体及び民間事業者の能力の向上を図り、PPP/PFI事業の導入を促進することにより、効率的かつ効果的な公共施設の整備・運営及び良好なサービスの提供を確保し、もって地域経済の成長に寄与することを目的とする。

地域プラットフォーム導入の背景

1 山梨県の人口は減少傾向が続いており、山梨県の人口は、令和27年には平成27年の人口から28.3%減少すると推計されている。

2 人口が減少すると行政収入が減少し行政サービスの低下、又は維持が困難な状況となる可能性が高い。

3 官民が連携したPPP/PFI事業を導入することで、行政サービスの低下を防ぎ効率的・効果的な公共サービスの提供を図る。

4 平成29年11月に山梨県PPP/PFI導入指針を策定し、対象となる施設や事業規模について指針を示しているが、具体的な案件、事業化には至っていない。

課題

地方公共団体の課題

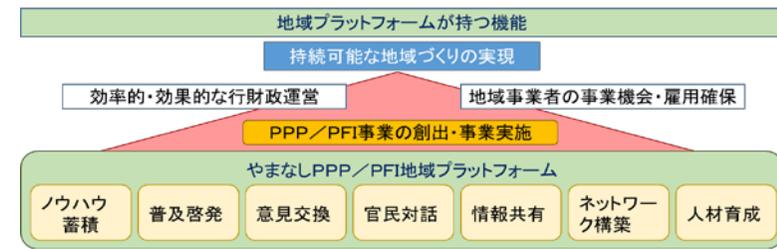
- 一部の地方公共団体を除き実績がなく、知識、関心が乏しい状況がある
- PPP/PFI手法の導入や公的資産の活用等に関するアイデア創出に限界がある
- 民間からPPP/PFI事業に関するアイデアや意見を提案できる機会や方法がない

民間事業者の課題

- メリットが十分に理解されていない
- PPP/PFIに関する知識・ノウハウが不足
- 受注機会に対する懸念がある
- PPP/PFI事業に取り組む上で必要となる異業種等のネットワークが不足している
- 地方公共団体の方針や考え、公的資産の保有状況がわからない

地域プラットフォームの役割・機能

- 地域の企業、金融機関、大学、地方公共団体等が集まり、PPP/PFI事業のノウハウ習得や官民対話を含めた情報交換を行い、PPP/PFI事業の具体的な案件形成につなげていく。
- PPP/PFI事業の円滑な導入を促進するために、県内の地方公共団体における公共施設等の整備・維持管理・運営等に関し、地域の産官学金間の連携の強化、地方公共団体及び民間事業者の能力の向上を図る。
- 官民対話等を通じ民間のノウハウ、アイデアを活用して、効率的かつ効果的な公共施設の整備・運営及び良好な行政サービスを維持し、地域経済の成長に寄与する。



地域プラットフォーム実施体制

■コアメンバー(17団体)

【地方公共団体】山梨県、甲府市、富士吉田市、韮崎市、南アルプス市、笛吹市、山梨市、市川三郷町、身延町、南部町、道志村、忍野村、山中湖村

【大学】国立大学法人山梨大学、公立大学法人山梨県立大学、山梨学院大学

【民間】株式会社山梨中央銀行

■事務局

山梨県総合政策部

株式会社山梨中央銀行コンサルティング営業部

■オブザーバー

関東財務局 甲府財務事務所

今年度の目標／実施事項

地域プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ■PPP/PFI地域プラットフォームの運営体制の構築 ■コアメンバーの募集 ■PPP/PFIに関する情報提供、ノウハウの共有 ■PPP/PFI案件の掘り起こし、及び案件形成・推進 ■次年度以降の持続的な運営体制の整備
山梨県及び県内地方公共団体	<ul style="list-style-type: none"> ■PPP/PFIに関する情報提供、ノウハウの共有 ■サウンディングによる官民対話のノウハウの取得、体験
民間事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■地域プラットフォームへの参加、セミナーやサウンディングへの参加意欲の醸成

具体的実施内容

期日	事業内容等
令和元年 9月20日	やまなしPPP/PFI地域プラットフォーム設立 第1回コアメンバー会議
10月17日	「第1回PPP/PFIセミナー」開催(国中地区) 講演「地域経済を強くするPPP手法 官の役割・民のノウハウ」 講師 関幸子(東洋大学 客員教授)
11月14日	「第2回PPP/PFIセミナー」開催(郡内地区) 講演「地域経済を強くするPPP手法 官の役割・民のノウハウ」 講師 関幸子(東洋大学 客員教授)
12月11日	第2回コアメンバー会議
令和2年 2月13日	第3回PPP/PFIセミナー開催 (公開)サウンディング型市場調査 講演① 地域におけるPPP/PFIの推進について 講師 草野真一(内閣府 PPP/PFI推進室 参事官補佐) 講演② サウンディング型市場調査での留意点 講師 関幸子(東洋大学 客員教授) (公開)サウンディング型市場調査① 身延町 (公開)サウンディング型市場調査② 市川三郷町

案件形成支援

やまなしPPP/PFI地域プラットフォームに参加する甲府市より事業組成に関する相談があり、支援を実施。

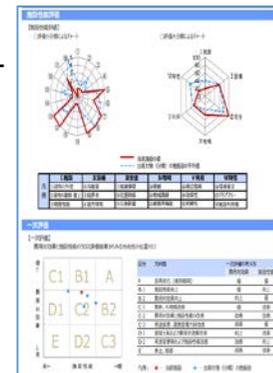
1 アドバイスの実施

策定を予定している「(仮称)公共施設等マネジメントにおけるPPP導入指針(案)」へのアドバイス及び個別案件に対するアドバイスを実施。

2 具体的なアドバイス

今回の相談案件である甲府市役所西庁舎へのPPP導入に関するアドバイスをを行い、以下の実施スケジュールを提案。

項目	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
甲府市公共施設等マネジメントにおけるPPP導入指針	●策定				
PPP/PFI担当組織の構築検討	←→				
庁内でのコンセプトワーク	←→				
地元ヒアリング、ニーズ把握	←→				
民間とのサウンディング、対話	←→	←→	←→		
事業案件の適切なPPP/PFI手法の選択	←→				
施設事業方針策定		←→	←→		
公募・要求水準書作成等		←→	←→		
事業実施			←→	←→	←→



形成・運営支援の成果

- プラットフォームの立上げ、運営を通じて、事務局及びコアメンバーの地方公共団体等・民間事業者のPPP/PFIに対する認識が大きく変化。その意義や継続の必要性への理解が向上。
- 地方公共団体職員・民間事業者の関心を惹起するようなセミナーの企画と参加者の募集により、PPP/PFIの理解、関心が顕著に進展。
- サウンディングでの体験を通じ、案件をもつ自治体にとって官民対話の場づくりや準備すべき情報や資料など具体のイメージの理解が進み、サウンディングの活用したいという声が増えた。
- セミナーや公開サウンディングに触発され、地域プラットフォームに参加している地方公共団体からの具体の案件相談が複数あり。

次年度以降に期待される取組み

- 1 情報発信の強化**
国等の多くの資料や情報をいち早く提供し、さらに相談機能の導入をめざす。
- 2 セミナーの開催と人材育成**
定期的に学ぶ場と交流の機会を提供することで、PPP/PFIの積極的な活用を促進する。
- 3 案件組成を予定する地方公共団体への支援**
官民連携のネットワーク構築、民間からの提案や相談窓口の設置等、共通課題の解消に努める。
- 4 サウンディング、マッチング機会の提供**
サウンディング開催支援により、地方公共団体からの案件組成を支援。
- 5 継続的な運営**
実際の公募手続や事業説明会の場として提供。

今年度の取り組みが示唆するもの

- 1 サウンディングにおける示唆**
 - ① 地方公共団体への官民連携の機会提供
事業計画や事業手法等の検討段階から、事業者目線での検討が可能となる。
 - ② 地域プラットフォームの果たす役割としてのネットワークづくり
知見のある民間事業者や専門家のネットワーク構築や官民対話の場づくりの担い手として重要である。
 - ③ 民間事業者同士のマッチングの重要性
地域の中小事業者と広域で活動する事業者とのマッチングの場となる。
- 2 地域プラットフォームの運営における示唆**
 - ① 地域特性に則した情報の発信
 - ② PPP/PFIの啓発と活用に向けたセミナーの開催と人材育成